

里地里山保全・再生の特征的取組 個票 A (対象地域の概況)

NO.99		津田、尊延寺、穂谷地区	生物地理区分	アカマツ林		
			地域区分	都市周辺		
所在地	都道府県	大阪府	地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地
	市町村	枚方市		4.低地	5.その他	
	集落名称等	津田、尊延寺、穂谷	環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田
				4.畑	5.小川・水路	6.ため池
7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林				
10.その他(竹林)						

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの :それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
保安林、鳥獣特保護区 近郊緑地保全区域、砂防地域	「にほんの里 100 選」、モニタリングサイト 1000 の里地里山コアサイト
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
枚方市の東部の津田、尊延寺、稲穂谷地区は、生駒山系に連なる山麓となっており、棚田などの農耕地、ため池、森林など、様々な環境が組み合わさり、人間と自然、野生動物が共存する里山環境がまとまって見られる地域である。	観光パンフレット等に写真が使用されている



撮影時期：2008年11月
写真の説明：尊延寺地区東山の大壺池



撮影時期：2007年11月
写真の説明：津田山のシンボル夫婦岩
津田山は、集落、市街地に近接している。



撮影時期：2007年10月
写真の説明：穂谷地区の棚田と二次林



撮影時期：2007年10月
写真の説明：コスモスの里穂谷での収穫祭

NO. 99		津田、尊延寺、穂谷地区		取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	大阪府			2.団体・企業・学校等
	市町村	枚方市			3.行政による支援施策の活用
	集落名称等	津田、尊延寺、穂谷			4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他	

取組主体	主な主体の名称	津田地区・尊延寺地区・穂谷地区(共有林組合、山地会、NPO 団体等)	
	各地区の主体の名称	津田：津田共有林組合、津田里山保全倶楽部、津田地区森づくり推進委員会 尊延寺：尊延寺山地会、尊延寺里山保全クラブ、尊延寺の自然を守る会 穂谷：NPO 法人森林ボランティア竹取物語の会、枚方里山の会・氷室、グリーン宗陽、穂谷森づくり委員会、穂谷区	
目的 ：主 ：その他	1.農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化(伝統的なものも含む)		
	対象・取組内容	津田山：入会権団体である津田共有林組合と市のボランティア育成講座から派生したボランティア団体、津田里山保全倶楽部が共同で森林整備活動(下刈、間伐、除伐、植樹、道の補修など)に取り組んでいる。 尊延寺：基本的に、地元住民による保全活動が行われているが、一部の民有地では、ボランティア団体による里山保全活動が取り入れられている。 穂谷：一部の民有地において、ボランティア団体による保全活動が進められている。	
	支援措置	保全活動の安定・継続のため、市からボランティア団体に補助金を交付 保全活動の基盤整備として、森林整備事業(樹林地の樹種転換、作業歩道・作業施設の整備)等を実施(市) 保安林では、大阪府による森林整備事業が行われている。	
	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用		
	自然観察会	*	市民団体による観察会(穂谷)
	環境教育・学習活動	*	ボランティア団体が講師の里山保全の講座(穂谷)、市主催の里山講座(津田)
	里地里山体験・環境保全	*	地元中学校の里山体験研修、新任教員の里山体験研修(津田山)
農林業体験活動			
エコツアー			
その他	*	「コスモスの里穂谷」(9月下旬~11月上旬) 枚方の里山「収穫の秋穂谷」(10月第2日曜日)	
4.野生動植物やその生息地の保全・管理			
取組内容	枚方市の東部地域の里山を、市民全体の貴重な財産として保全継承していくため、市民、地権者、行政が連携し、一体となった取組が進められている。 市民活動として、「枚方いきもの調査会」が定期的調査を実施しており、また環境省「モニタリングサイト1000」にも選ばれ、里山のいきもの調査が行われている。		
連携・協働による取組内容・役割分担等	・地権者、市民、行政により、里山の保全・整備に関する協議等を行い、相互の連携を深める場として各地区ごとに「森づくり委員会」を設けている(津田、穂谷)。 ・「コスモスの里穂谷」では、地域住民(農家)を中心とした「枚方の里山・収穫の秋穂谷」実行委員会が主体となってイベント全体の企画を行っている。またスタッフは、穂谷区住民137名(78軒)を中心に、行政(大阪府・枚方市)、JA北河内等関係団体のほか、ボランティアとして近隣自治会、関西外国語大学の学生も協力している。		
取組の特徴や強調したい点			

取組の概要	地権者、市民、行政が地区単位で連携し、里山保全・整備活動	課題グループ 野生生物 学習体験 仕組
事例の特性	地元と外部の連携のための参加・協力体制(大都市近郊)	
取組の中で他の地域の参考となる点	地権者、市民、行政により地区単位で「森づくり推進委員会」が設けられ、複雑な所有形態でありながらも地元住民や活動団体による里山保全活動が行われているほか、自然観察会や地元中学校の体験研修等にも活用されている。	